

ネーミング名 | 金紋世界鷹みどりと川の再生環境保全事業

事業名 | 重要里地里山天覧山・多峯主山の再生活用事業

法人名 | NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会(飯能市)



活動内容

当法人は、天覧山周辺の緑地(約1,400m²)を買い取って保全するとともに、そこを拠点に楽しみながら里山保全を進めています。また、自然環境調査を継続し、行政や企業等と協働して天覧山周辺の緑地の保全活動を進めています。

事業取組

買取保全地のPRと市民に里山に親しんでもらうため、自然の中でのフリーマーケット「里山バザール」を開催したほか、自然観察会の開催、看板の設置、パンフレットの作成により、天覧山・多峯主山の貴重な自然や保全地の意義をPRしました。

また、資機材の整備により、買取保全地の雑木やツルなど藪の刈り払い、水路やビオトープ池整備、植樹などの里山整備を進め、子どもたちが安全に自然に親しめる場所になりました。

事業成果

多数の方々の参加を得て、買取保全地の藪を刈り払うとともに、「里山バザール」や自然観察会の開催、看板の設置などにより、里山保全を効果的にPRすることができました。今後も、行政や企業等と連携した保全活用に努めます。



総事業費 803,911円

助成額 800,000円



ネーミング名 | 金紋世界鷹みどりと川の再生環境保全事業

事業名 | 和光の緑と湧き水を次世代に残す事業 一都市部の身近な自然の調査・保全・活用一

法人名 | 特定非営利活動法人和光・緑と湧き水の会(和光市)



活動内容

和光・緑と湧き水の会は2007年よりNPO法人として、身近な自然を知り、守り、活かす活動を続けています。自然観察や生態系の調査をもとに、都市部の緑地・湧水地の保全のため、手入れや清掃を行うとともに、一般市民や子供達に「自然を楽しみ、自然とふれあう場」として活かす行事を実施しています。

事業取組

今回の「和光の緑と湧き水を次世代に残す事業」では、急速に都市化が進む和光市で、いかにして身近な自然環境を残していくかの観点から、トラスト制度など、保全を可能とする制度面や経済的裏付けの確保を、行政との連携で進めるためのセミナーを開きました。

また、当法人が日常的に継続してきた保全活動や、身近な自然の大切さを広める活動に一般市民や子供達が参加するきっかけとなるように、色々な「環境ボランティア体験会」を実施し、楽しみながら保全を進める体験をしてもらいました。

事業成果

都市部での開発・発展と自然環境の維持の両立は現代の重要な課題です。そのための土地の取得や制度上の工夫が必要で、市民と行政、地権者の理解と協力が不可欠です。それを一步でも前進させるための活動を進めていきます。

自然の大切さを実感できる環境ボランティア活動の普及との両輪で、地域の自然を守ることを目指します。

総事業費 620,247円

助成額 607,000円



ネーミング名 | 株式会社富士薬品ドラッグセイムス環境保全支援事業

事業名 | 都市近郊の生物多様性回復のための生態補償地の造成と普及

法人名 | 特定非営利活動法人自然環境観察会(上尾市)



活動内容

当法人は任意団体として活動後、2017年1月に法人化しました。活動内容は野生生物の調査、保全、研究会、セミナー、展示会、子ども自然観察会の開催などです。調査域は上尾、桶川、久喜、熊谷、幸手、宮代などの生態補償地です。会員は20名で、当法人のキーワードは環境保全、技術開発、技術普及、環境教育です。

事業取組

①生態補償地の設営：上尾、桶川、久喜、宮代、熊谷の各地に生態補償地を設けジャコウアゲハ、アオスジアゲハ、天敵生物や鳥類がすめるようにしました（延べ40名参加）。

②月例観察会：生態補償地および県環境科学国際センター生態園で昆虫、鳥類の調査を行い昆虫と鳥類258種を確認しました（延べ80名参加）。

③身近な昆虫の標本を作成し、埼玉県県民活動総合センターと上尾文化センターなどで8月、11月に展示会と標本作成を行いました。毎回、子供～大人150～650名の来訪者があり、こども自然観察会には毎回10～20名が参加しました。

事業成果

生態補償地の保全候補生物を約50種選定し、ジャコウアゲハとテントウムシの保全方法はほぼ確立しました。今後は、寄主植物、蜜源植物の充実を図り生態補償地（緑のオアシス）を安定させます。引き続き生物相調査、データベース化の継続と公開するとともに、生態補償地を普及します。

総事業費

496,310円

助成額

493,000円



活動内容

暑さ日本一を記録した熊谷で、翌2008年に設立しました。環境保全活動として、主に、春のサイクリング、夏の打ち水大作戦、冬のしめ縄づくりを実施しています。とりわけ打ち水は、暑い夏の熊谷を快適に過ごす手段として行政や市民と交流して力を入れています。

事業取組

打ち水大作戦では、披露した打ち水ダンスやミニ新幹線、たらい舟が好評でした。環境共生のまちづくりを進めるために、自転車の活用として、サイクリングに着目し、お勧めのサイクリングマップを作成し、配布しました。

自然の恵みに感謝するために、しめ縄づくりの材料となる稻わらを会員たちの手で、田植えから稻刈り、乾燥まで行いました。

事業成果

打ち水大作戦では、広報に力を入れたことで、昨年に比べ参加者が大幅に増えました。今後の普及拡大のため、サポートー100人を養成して行きます。サイクリングについては、マップづくりをさらに進めるとともに、レンタサイクルについても研究を行って行きます。しめ縄については、現在の形を継続して行きます。

総事業費

1,221,625円

助成額

1,000,000円

